

いじめ予防授業

1 授業の目的

①いじめとは何かを正確に理解する。②いじめが起きた場合の対処法を理解する。

2 授業内容

- ・実際に起きた事例（LINE 事例等）を用いて、「いじめ」とは何かを具体的に理解してもらいます。
- ・アニメのキャラクターを用いて、「いじめの四層構造」を理解してもらいます。
- ・対象者の年齢によって、LINE 事例を用いて「いじめの四層構造」について発展的に理解してもらいます（SNS では思わぬ行動が、四層構造における観衆や傍観者としていじめに関わっていることになってしまう。）。
- ・いじめ防止対策推進法を踏まえた説明を行います。



※授業はクラス単位での実施となります。

3 対象者

小学校（4年生～6年生）、中学校、高等学校

4 令和3年度の授業実施件数

約40校（受講者約5000名）

5 受講した子ども達の感想

- ・いじめ＝傷ついている ということを知って、自分がふざけて行ってしまったことは、相手はどう受け取っているかなど考えながら話したいです。
- ・自分もいついじめに加担しているか分からないと思った。
- ・いじめが意外と身近にあって、大事になる前に少しでも違和感があったら相談したい。
- ・いじめに気付いたら、その子の支えとなるように声を掛けてあげたり、先生に伝えたいと思います。
- ・いじめを見つけら、ただ傍観するだけでなく、すぐ助けを呼びたい
- ・一人で間に入るのは少し怖いから、何人かで間に入って助けたい
- ・いじめを受けていても周りに相談することが大切